

17	ストリートダンス
ビジョン	年齢・所属の異なる者が集まり、ダンスを通じて「コミュニケーション」と「協調性」を養う。
ゴール	参加者全員で一つのダンスを完成させ、12月のアゼンブリ活動報告会で発表する。
理由	各学部の学生・教員が、ストリートダンスを通じて交流をはかることにより、コミュニケーション能力や協調性を育てる。
知の成果物	曲に合わせたステップ・動作の完成。
身につく力(目的)	・有酸素運動を行うことでの体力増進、脂肪燃焼、健康増進 ・リズム感・表現力・協調性
学習の内容	スタジオや様々なシーンで活躍している現役ダンスインストラクターを招き、Funk、Hip Hopを中心としたストリートダンスを行う。6月までは基本的なステップや動作の習得を目指し、7月以降は複雑な振り付けで踊れることを目標とする。
活動の特徴	経験者は、初心者の手本となって班活動をリードし、さらに自分のレベルアップを目指して欲しい。 初心者は、最初はインストラクターや経験者の動きを真似することにより基本的な動作を習得し、その後レベルアップを目指して欲しい。
班主任名	金子葉子 医学部 生理学 I
<初回>活動場所	学生食堂入り口前
<通常>活動場所	
<雨天時>活動場所	